

新旧対照表

中野区交通政策基本方針(素案たたき台) 第1回協議会からの変更点

第1章 中野区交通政策基本方針について

No.	【新】素案たたき台修正版(R3.7.29)		【旧】素案たたき台(R3.5.21)
1	P.2	2 基本方針の位置づけとねらい ○図のデザイン変更	2 基本方針の位置づけとねらい
2	P.3	3 基本方針の対象区域と領域 ○図のデザイン変更	3 基本方針の対象区域と領域

第2章 区に関する交通に関する現状と課題等

No.	【新】素案たたき台修正版(R3.7.29)		【旧】素案たたき台(R3.5.21)
3	P.5	1 交通に関する現状・地域特性・問題点 ○自動車(路線バス、タクシー、自家用車など)	1 交通に関する現状・地域特性・問題点 ○自動車(路線バス、自家用車など)
4	P.6	【次の項目を追加】 ○タクシーは、鉄道や路線バスといった大量輸送交通が担っている公共交通としての役割とは異なり、ドア・ツー・ドアの機動的・個別的な交通として多忙な都市生活者などの生活に合わせ利用されるとともに、移動しづらい育児中の女性や高齢者及び障害者などにも利用されています。(第5章資料編P31)	

第3章 交通政策の基本的な考え方

No.	【新】素案たたき台修正版(R3.7.29)		【旧】素案たたき台(R3.5.21)
5	P.13	1 交通政策の推進にあたっての基本的認識 ○交通は、区民にとって安全・安心、快適・便利に生活するための必要不可欠なものとなります。とりわけ公共交通については、必要性が高いものとなっています。 また、今後の超高齢社会への対応、昨今の自然災害や新型コロナウイルス感染症等への対応が求められるとともに、脱炭素をはじめとした環境への配慮、新技術の普及等の社会情勢の変化への対応も求められます。 こうしたことを踏まえ、まちづくり等との連携、公民の連携、地域との協働を適切に図ることが重要という認識のもと、持続可能な公共交通の実現に向け、公共交通ネットワークや交通インフラを充実するため、交通政策を推進していきます。 ○図の変更(内容含む)	1 交通政策の推進にあたっての基本的認識 ○交通は、区民にとって安全・安心、快適・便利に生活するための必要不可欠なものとなります。とりわけ公共交通については持続可能な交通基盤として必要性が高いものとなっています。 また、今後の超高齢社会への対応、昨今の自然災害や新型コロナウイルス感染症等への対応が求められるとともに、脱炭素をはじめとした環境への配慮、新技術の普及等の社会情勢の変化への対応も求められます。 こうしたことを踏まえ、まちづくり等との連携、公民の連携、地域との協働を適切に図ることが重要という認識のもと交通政策を推進していきます。

6	P.14	2 めざすべき姿と基本目標 【次の項目を追加】 ○SDGs(持続可能な開発目標)への取組 ○SDGsにおける持続可能な開発のための17の目標(ゴール)のうち、7番目の「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、9番目の「産業と技術革新の基盤をつくろう」、11番目の「住み続けられるまちづくりを」、17番目の「パートナーシップで目標を達成しよう」の4つの目標を、本方針と特に係わりが強い目標(ゴール)ととらえ、それぞれに関連する取組を推進していきます。 ○図の追加	2 めざすべき姿と基本目標
7	P.15	【次の項目を追加】 ○イメージパースの追加(※作成途中)	
8	P.18	3 取組の方向性 ○新たな交通結節点(交通機能の例示)にタクシーのりばを追加 ○図の変更(内容含む)	
9	P.19	○鉄道と路線バスやタクシー等との円滑な乗り継ぎ等を図るため、将来を見越した適切な需要予測に基づき、駅舎改良や駅前空間、自動車・自転車駐車場整備等の交通結節機能の強化を公民の連携、適切な役割分担のもと推進します。	○鉄道と他の交通手段との円滑な乗り継ぎ等を図るため、将来を見越した適切な需要予測に基づき、駅舎改良や駅前空間、自動車・自転車駐車場整備等の交通結節機能の強化を公民の連携、適切な役割分担のもと推進します。
10	P.20	○道路交通の円滑化を図るため、路上荷捌き等の駐車課題の多い鉄道駅周辺においては、都市計画駐車場の整備、荷捌き駐車対策等の駐車施策を推進します。	○路上荷捌き等の駐車課題の多い鉄道駅周辺においては、都市計画駐車場の整備、荷捌き駐車対策等の駐車施策を推進します。
11	P.22	【次の項目を追加】 ○⇒交通事業者による福祉施策や子育て施策の推進 ○⇒バス待ち環境整備に向けた交通事業者と地域との連携・検討	
12	P.23	【次の項目を追加】 ○⇒交通事業者によるICT(情報通信技術)を活用したサービスの推進	

第4章 交通政策基本方針の推進について

No.		【新】素案たたき台修正版(R3.7.29)	【旧】素案たたき台(R3.5.21)
13	P.25	1 推進体制 ○図のデザイン変更	1 推進体制
14	P.26	2 めざすべき姿の実現に向けたステップ ○図のデザイン変更	2 めざすべき姿の実現に向けたステップ

第5章 資料編

No.	【新】素案たたき台修正版(R3.7.29)		【旧】素案たたき台(R3.5.21)
15	P.27	1 交通に関する現状・地域特性・問題点に関するデータ等 ○図のデザイン変更・図のタイトル追加	1 交通に関する現状・地域特性・問題点に関するデータ等
16	P.28	○図のデザイン変更・図のタイトル追加	
17	P.29	○図のタイトル追加	
18	P.30	○図のデザイン変更・図のタイトル追加	
19	P.31	【次の項目を追加】 ○(3)主なタクシーサービス	
20	P.32	○図のデザイン変更・図のタイトル追加	
21	P.33	○図のデザイン変更・図のタイトル追加	
22	P.34	【出典元の更新】 ○国が令和3年(2021年)5月に策定した第2次自転車活用推進計画によると、自転車の活用の推進に関する施策を指標として示しています。 ○東京都が令和3年(2021年)5月に改定した東京都自転車活用推進計画によると、自転車の活用の推進に関する施策を指標として示しています。 ○表の更新 ○出典元・表のタイトルの追加	○国が平成30年(2018年)6月に策定した自転車活用推進計画によると、自転車の活用の推進に関する施策を指標として示しています。 ○東京都が平成31年(2019年)3月に策定した東京都自転車活用推進計画によると、自転車の活用の推進に関する施策を指標として示しています。
23	P.35	【出典元の更新】 ○令和2年度(2020年度)の中野区内の鉄道駅における放置自転車台数は、中野駅周辺が比較的多い状況となっています。 ○表の更新 ○出典元・図のタイトルの追加	○令和元年度(2019年度)の中野区内の鉄道駅における放置自転車台数は、中野駅周辺が比較的多い状況となっています。
24	P.36	○表のタイトル追加	
25	P.37	○図のデザイン変更	
26	P.38	○図のタイトル追加	
27	P.39	○図のデザイン変更・図のタイトル追加	
28	P.40	○図のタイトル追加	
29	P.41	○図のタイトル追加	
30	P.42	○図のタイトル追加	
31	P.43	○図のタイトル追加	
32	P.44	【出典元の更新】 ○令和3年(2021年)1月現在で、人口は334,632人、世帯数は207,425世帯です。 ○図の更新 ○図のデザイン変更・図のタイトルの追加	○令和2年(2020年)1月現在で、人口は335,234人、世帯数は207,909世帯です。

33	P.45	<p>【出典元の更新】</p> <p>○中野区の総人口は令和17(2035)年をピークに減少に転じ、令和27年(2045年)には総人口に対する老年人口の割合が30%を超えると予測されています。 (106,888人/350,213人=30.5%)</p> <p>○図の更新</p> <p>○図のデザイン変更・図のタイトルの追加</p>	<p>○中野区の人口の将来予測は、現状推移によると下図のとおりとなっており、総人口が減少していく中、老年人口が増加し、令和27年(2045年)には総人口に対する老年人口の割合が30%を超えると予想されています。 (85,086人/281,137人=30.3%)</p>
34	P.47	○図のデザイン変更・図のタイトル追加	
35	P.48 P.49	<p>【次の項目を追加】</p> <p>○2用語説明</p>	